



平成23年(ワ)第101号 損害賠償請求事件

原告 上原正稔

被告 株式会社琉球新報社

平成24年6月19日

証拠説明書6 (甲号証)

那覇地方裁判所民事第2部合議係 御中

原告訴訟代理人

弁護士 徳 永 信 一

甲36～甲41

甲	標目 【原本・写し】	作成者 【作成年月日】	立証趣旨 【備考】
36 の1	手紙 【原本】	赤松嘉次 【昭和45年(1970年)4 月2日】	『バンドラの箱を開けるとき』の 最終回の原稿で引用した赤松嘉次 の手紙(西口邦輔=安里婦順宛)
36 の2	手紙(封筒) 【原本】	赤松嘉次 【昭和45年(1970年) 4月2日】	
37 の1	手紙 【原本】	赤松嘉次 【昭和45年(1970年) 4月17日】	『バンドラの箱を開けるとき』の 最終回の原稿(乙6)で引用した赤 松嘉次の手紙(安里婦順宛)
37 の2	手紙(封筒) 【原本】	赤松嘉次 【昭和45年(1970年) 4月17日】	

38 の1	原稿『集団自決問題真相 と疑惑その行方』 【原本】	星雅彦 【平成19年8月】	星雅彦が琉球新報の宜保部長の 依頼を受けて書いた集団自決問題 に関する原稿（宜保部長による修正 を受けたうえ、結局、掲載されな かった）
38 の2	清書（集団自決問題真相 と疑惑その行方） 【写し】	錦古里正一 【平成24年6月12日】	上記原稿の内容
39	『対談：沖縄思想が対応 する現実問題』（うらそ え文芸第17号） 【原本】	星雅彦 宮城能彦 【平成24年5月】	被告琉球新報と沖縄タイムスが 本来の新聞としての役割から逸脱 して政治的キャンペーンの媒体と なって沖縄世論を誘導している沖 縄の現状を憂いたもの
40	『ドキュメンタリー作 家上原正徳の挑戦！』 （うらそえ文芸第17 号） 【原本】	江崎孝 【平成24年5月】	江崎孝による本件訴訟の解説（一 般の読者は琉球新報による言論封 殺がなされたと了解していること）
41 の1 ～6	『八重山日報』 【原本】	原告 【平成24年4月26日 ～同年5月1日】	原告の主張事実全般